



夢風 YUMEKAZE



立春が過ぎ、朝夕の寒さは相変わらず厳しいですが、日差しには春の気配を感じる今日この頃です。2月15日、本校体育館で総合学科としての発表会と3年生を送り出す予餞会が行われました。3月1日、総合学科2回生となる3年生は学舎を巣立っていきます。一人ひとりが新たな「夢」を胸に抱きながら……

*夢風カラー版(PDFファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>
ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp



ニュース News

総合発表会

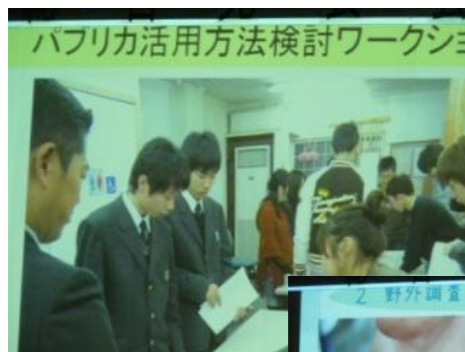
総合学科の集大成として1年生から3年生までの総勢700余名が体育館に集い、総合発表会が行われました。1年生の「産業社会と人間」、2・3年生の「総合的な学習の時間」の取り組みを中心に、ビジネス研究部による「地域連携活動報告」、SPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)による今年度の活動報告、特色のある授業(福祉プラン、保育プラン、服飾プラン)の発表と、総合学科ならではの盛りだくさんな内容の発表会となりました。

1年生の代表者3名は「夢の実現」までの道筋(ライフプラン)を堂々と発表しました。その姿に上級生は目を細め、心から「夢の実現」を応援していました。

2年生の代表者は、マレーシアへの修学旅行の事前学習であるガイドブック作成やピクチャーブックの作成、現地校との交流などについてわかりやすく発表しました。発表を聞いた1年生の心は異文化交流ができるマレーシアに飛んでいました。今から修学旅行が楽しみ♪

ビジネス研究部は今年1年間、市中心部にある空き店舗パブリカを拠点として活動してきたことや、豊田市駅前で行われたクリスマスイルミネーション、パブリカのシャッター製作、まちあるき隊など様々な活動を報告しました。

またSPP活動班のカワヒバリガイの研究は今年で3年目を迎えました。今年度はDNAの解析を名古屋大学で行うなどますます、研究内容は深化しています。生徒は、自分たちの仲間が学校以外のところでさまざまな活動をしていることに驚きましたが、そういう仲間とともに学んでいることに誇りを感じたようです。



↑ビジネス研究部

これがカワヒバリガイ

SPP活動班→



特色ある授業の発表では、福祉プランが野見小学校での歌や踊りの楽しい交流の様子を発表しました。保育プランの3年生による「はらぺこあおむし」は度肝を抜く巨大な紙芝居として全校生徒の前に現れました。そして服飾プランの3年生による恒例のファッションショーは手作りと思えないすてきな作品ばかりで、照れながらポーズをする生徒が印象的でした。



今年の発表会で下級生から好評だったのは、3年生による模擬面接でした。実際に就職試験や受験で面接を体験した生徒による発表は、とても良い刺激になったようです。「もっとやってほしかった」「クラスに来てみせてほしい」そんな声も聞かれました。3年生の発表は1・2年生に「さすが3年生は違うなあ」と思わせるほど、わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションで、進路先に応じた課題研究はどれも完成度の高い発表でした。そしてどの発表も下級生にとって目標となる素晴らしいもので、「総合学科で学ぶということがよくわかった」「来年は自分が舞台上で発表できるようがんばりたい」など、発表を通して3年生が伝えようとしたメッセージは確実に下級生に伝わったと実感できる発表会となりました。



予餞会

総合発表会に続いて、3年生への餞(はなむけ)となる予餞会が行われました。3年学年団による劇「夢をかなえてドラえもん」は、ドラえもんの出す道具の数々は実は生徒

がこの東高で体験したことすべてであり、夢は「かなえて」と願うのではなく、自分で「かなえる」ものだ伝えていました。そして、1年生音楽選択114名による「虹」の合唱は、3年生の心に虹の架け橋となって届けられたことでしょう。

